

## 連休期間における口蹄疫等の 防疫対策の徹底について

口蹄疫については、2025年以降、清浄国であったドイツ、ハンガリー及びスロバキアで発生が確認されたほか、ワクチン接種により発生を抑制している韓国では本年3月に1年10か月ぶりとなる発生が全羅南道の牛農場で確認され、4月以降は豚農場でも発生が続くなど本県含む国内での本疾病の発生リスクは非常に高い状態が続いていますので、流行状況の変化に注意していただくとともに、以下の対策の徹底をお願いします。

### 1 畜産関係者の海外渡航の自粛

- ・海外における口蹄疫等の発生状況を把握し発生地域への不要不急の渡航を自粛してください

### 2 外国人従業員の方が従事する農場での注意点

- ・外国人従業員の方を受け入れている農場では、日本への持込みが禁止されている肉製品や農場で使用する作業服、器具等が海外から持ち込まれることのないよう従業員に周知してください

### 3 農場における病原体の侵入防止対策

- ・看板の設置等により、家畜の飼養管理に関係のない者（観光客等）が衛生管理区域に立ち入らないようにしてください
- ・農場の防護柵、農場内や周囲における野生動物の隠れ場所の排除、こぼれ飼料や死体の適切な処理、堆肥置場へのネットの設置、畜舎の壁・天井の破損や隙間等の点検と修繕等、野生動物との接触防止に努めてください
- ・その他、農場に出入りする人の更衣や靴の交換、手指消毒、物・車両等の消毒等の衛生対策を徹底するようにしてください

### 4 早期発見及び早期通報

- ・口蹄疫の特定症状（同一の畜房内で複数の牛が40以上の発熱があり、口腔内又は鼻腔内に出血、びらん、潰瘍があること、死亡家畜が急激に増加していること）が見られた場合、速やかに当所に報告ください
- ・ランピースキン病についても、牛に発熱、食欲不振、皮膚の結節等の疑わしい症状を認めた場合も当所へ報告ください
- ・飼養家畜の健康観察を入念に行い、早期発見に努めてください

県南家畜保健衛生所 TEL：0957-68-1177

防疫課メールアドレス：s11350@pref.nagasaki.lg.jp

土日祝日の休庁日は上記の電話番号

に連絡をお願いします。



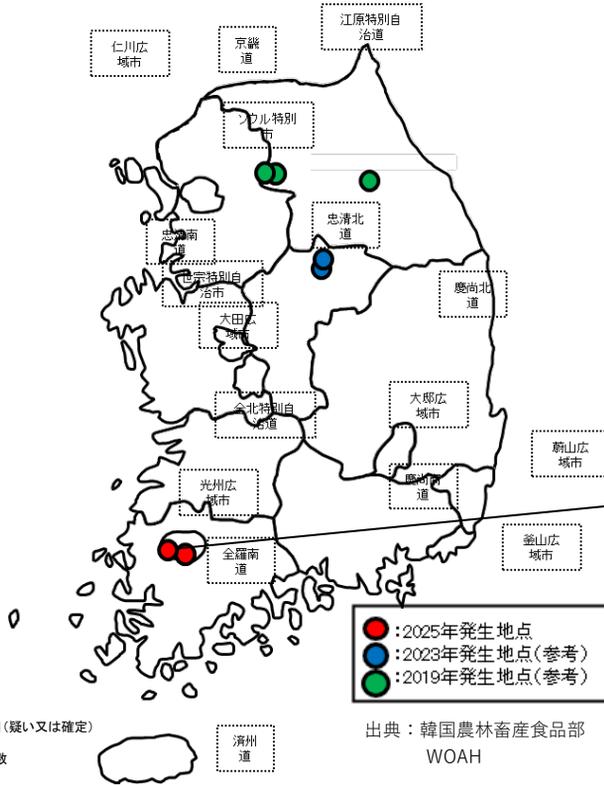
# 韓国で口蹄疫が発生！



今一度、発生予防を徹底しましょう！

韓国では、2025年3月に1年10ヶ月ぶりに口蹄疫の発生が確認されました。現在、我が国へ侵入するリスクが極めて高い状況が続いています。

## 韓国における口蹄疫の発生報告状況（2025年4月14日時点）



注：日付はWOAH報告の発生日  
ただし、WOAH未報告の場合は韓国当局公表日(疑い又は確定)とし、件数の後に※マークを記載  
頭数は当該農場で飼養されている感受性動物数

### 全羅南道 (19件)

|                 |     |               |
|-----------------|-----|---------------|
| 3月13日 (確定日は14日) | 霊岩郡 | 牛：1件 (O型)     |
| 3月14日 (確定日は15日) | 霊岩郡 | 牛：3件 (O型)     |
| 3月15日 (確定日は16日) | 務安郡 | 牛：1件 (判定不能)   |
| 3月17日           | 霊岩郡 | 牛：3件 (O型) ※   |
| 3月18日           | 霊岩郡 | 牛：2件 (O型) ※   |
| 3月19日           | 霊岩郡 | 牛：2件 (O型) ※   |
| 3月20日           | 霊岩郡 | 牛：1件 (O型) ※   |
| 3月23日           | 霊岩郡 | 牛：1件 (判定不能) ※ |
| 4月10日           | 務安郡 | 豚：2件 (O型) ※   |
| 4月12日           | 務安郡 | 豚：2件 ※        |
| 4月13日           | 務安郡 | 豚：1件 ※        |

\*関連農場2農場(いずれも検査陽性)あり。

2025年4月14日時点  
農林水産省動物衛生課

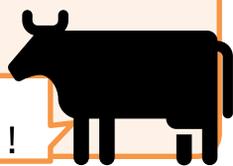
## 牛農家の皆様へ

### 発生予防の徹底をお願いします！

- 農場の出入口に看板を設置するなどにより、**関係者以外の立入を制限**しましょう。
- 農場の出入り時は、**専用の靴・衣服を着用し、手指を消毒**するとともに、持ち込む**物品や出入りする車両の消毒を徹底**しましょう。
- 畜舎の出入口に**専用の靴の着用や踏込消毒槽等**を設置することにより、出入りする人の**靴底の消毒を徹底**しましょう。
- 従業員の方も含め、**口蹄疫が発生している国への渡航は可能な限り控える**とともに、これらの国からの郵便物等は衛生管理区域に持ち込まないようにしましょう。
- 毎日、飼養家畜の健康観察**を行い、**疑わしい症状があれば直ぐに通報**しましょう。



裏面も  
チェック！



# 専用の衣服・靴等の着用や効果的な消毒を実施しましょう！

- ・ 衛生管理区域に立ち入る場合には、**専用の靴や衣服を着用し、手指消毒を実施**しましょう。
- ・ 畜舎ごとに**専用の靴または踏込消毒を設置し、**使用しましょう。



専用の服や靴の使用、手指消毒

## ◎効果的な消毒のポイント

- ・ 踏込消毒槽の消毒液は、汚れて効果が薄れるので、**まずは汚れを落としてから消毒**しましょう。また、**消毒薬が汚れていたら、直ちに交換**しましょう。
- ・ 農場に出入りする車両を消毒する時は、**タイヤのみを消毒するのではなく、泥よけの内側部分まで消毒し、衛生管理区域内で降車する場合は農場専用のフロアマット等の使用や車内（ハンドルやドアノブ等）の消毒**を実施しましょう。



推奨される踏込消毒槽の設置方法！

②消毒液の槽



①水洗の槽



汚れをしっかりと落としてから消毒！



車両はタイヤだけでなく、**泥よけの内側まで消毒し、フロアマットの交換やペダル等車内も消毒**

## 《要注意》

- ★ **逆性石けんやアルコールは口蹄疫の消毒薬としては不適です！**
- ★ **消毒効果が弱まるので、酸性とアルカリ性の消毒薬を同時に使用しないこと！**

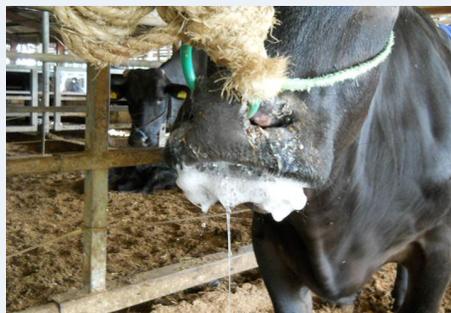
## 疑わしい症状は直ちに通報を！

口蹄疫は牛や豚などで発熱や食欲不振に始まり、後に**泡状のよだれ**を流したり、**口、ひづめ、乳房に水疱（水ぶくれ）**ができるのが特徴です。

<A型口蹄疫ウイルスの感染実験の結果>

### ～牛の症状～

写真: 宮崎県提供



上顎口唇潰瘍



水疱が破れている

写真: 動物衛生研究部門提供

**毎日必ず健康観察し、これらの症状を見つけ次第、直ちに獣医師や最寄りの家畜保健衛生所に連絡**しましょう。

牛では、**1頭のみに着目せず、泡状のよだれを多く流している個体が多い、上記の症状が急速に拡がるなど、群としての異状の有無を確認することが重要**です。

連絡先:

（最寄りの家畜保健衛生所の  
連絡先を記入しておきましょう！）

# 家畜の伝染病の 侵入防止への 協力をお願い



今、世界では**アフリカ豚熱**と**口蹄疫**という家畜の伝染病のまん延が大きな問題となっています。これらは、**肉製品や衣服、靴などを介して感染拡大**します。これらが日本に侵入すれば、**畜産物の安定供給に深刻な悪影響**を与えるおそれがあります。国内への侵入を防ぐため、皆様の協力が必要です。

## 01 アフリカ豚熱、口蹄疫とは

### アフリカ豚熱 (ASF)



#### 特性

- 致死率はほぼ100%（甚急性型、急性型の場合）
- ウイルスは長期間にわたって環境中に生存（冷凍なら**1,000日**以上も）
  - pH4~11でも、血液や糞便中でも、豚肉や加工品（塩漬ハム等）の中でも生存できる

#### 予防・治療

有効な治療法や予防法はない、ワクチンはない

#### 損害

中華人民共和国で死亡・殺処分により飼養頭数が4割減り、豚肉価格が2倍以上に（2019年の事例）

### 口蹄疫 (FMD)



#### 特性

- 口や蹄にできた水疱が痛くてエサを食べなくなり、産業動物としての価値が著しく低下
- ウイルスの感染力が極めて強い
  - 空気感染する（風に乗って**60km**以上離れた農場に移った例も）
  - 豚1頭が1日に排出するウイルス量は牛を最大**1,000万頭**感染させる量に相当

#### 予防・治療

有効な治療法はない、ワクチンはあるが感染自体は防げない

#### 損害

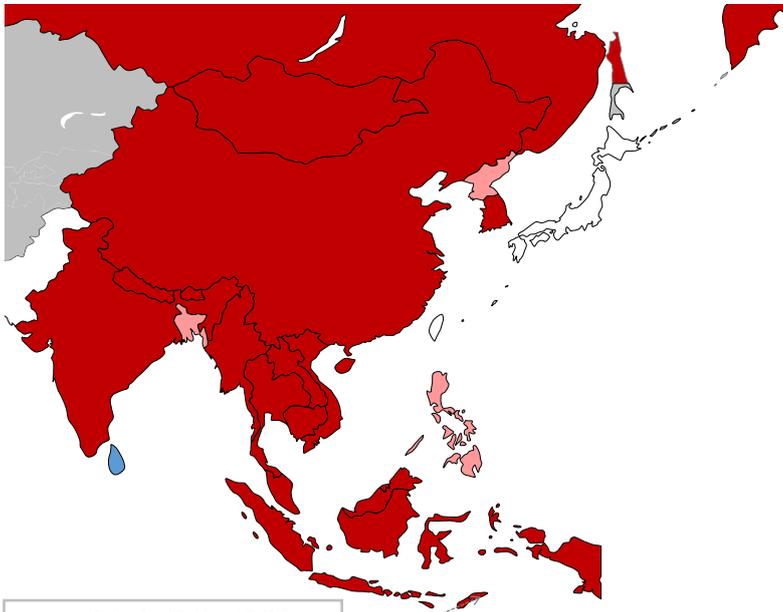
過去に国内で30万頭の牛・豚を殺処分し、2,350億円の被害（2010年の発生に関する宮崎県の試算、関連産業含む）

※ いずれの病気も**人への感染の心配はない**注

注：海外では口蹄疫ウイルスに極めて濃厚に接して感染した事例がごくまれに報告されるが、通常の生活の中で人に感染することはない。万が一感染した場合は軽い発熱や口内炎になる程度で速やかに回復し、死亡例はない。

## 02 アジアでの発生状況

- アフリカ豚熱は、2018年に中国に侵入後、**アジア各国に拡大**。
  - 口蹄疫は、**多くの国で継続的に発生**。
  - **いずれの病気も発生していないのは日本や台湾などごく限られた国・地域※**。
- ※ 日本や台湾では過去に口蹄疫が発生したことがあるが、その後清浄化している。



■ : アフリカ豚熱・口蹄疫が発生している国・地域  
 ■ : アフリカ豚熱のみ発生している国・地域  
 ■ : 口蹄疫のみ発生している国・地域  
 □ : いずれも発生していない国・地域

2024年1月10日時点  
 出典：WOAH、各国のウェブサイト等  
 注1：本資料における「発生」はWOAHに報告されたもの  
 注2：初発生年はWOAHに発生が報告された年  
 注3：口蹄疫発生国・地域は2021年以降で、括弧内は発生数

### アフリカ豚熱の初発生年

| 国・地域名   | 初発生年  |
|---|-------|
| 中国  | 2018年 |
| 香港、モンゴル、北朝鮮、韓国、ベトナム<br>ラオス、カンボジア、フィリピン、ミャンマー<br>インドネシア、東ティモール | 2019年 |
| インド   | 2020年 |
| マレーシア、タイ、ブータン   | 2021年 |
| ネパール  | 2022年 |
| シンガポール、バングラデシュ  | 2023年 |

### 口蹄疫発生国・地域

| 国・地域名  | 発生年   |
|--|-------|
| 中国(2)、ロシア(1)、ベトナム(28)<br>カンボジア(41)、マレーシア(21)、タイ(47)<br>インド(105)、ブータン(24)、ネパール(40)<br>モンゴル(102)、スリランカ(36) | 2021年 |
| 中国(1)、カンボジア(24)、タイ(108)<br>マレーシア(28)、インドネシア(不明)<br>インド(103)、ブータン(3)、ネパール(66)<br>モンゴル(3)、スリランカ(57)        | 2022年 |
| 中国(4)、韓国(11)、ネパール(15)<br>カンボジア(3)、マレーシア(7)<br>インドネシア(不明)   | 2023年 |

注：検査体制や、まん延により報告が十分でない場合やワクチンにより発生が見えにくく汚染状況と発生数が一致していない場合がある。

## 03 侵入を防ぐためにできること

### 1 海外から肉の入った食品を持ち込まない

- 感染した肉を**動物が食べる**と感染
- 不法持込された肉製品から**生きたアフリカ豚熱ウイルス**を発見

#### 持込禁止



### 2 野外に肉の入った食品を捨てない

- ハイキングのお弁当やバーベキューの**食べ残し、ごみ**からも感染
- アフリカ豚熱に感染した肉の入っていた**トレーをイノシシが舐めた**だけで感染
- 海外では**野生イノシシ**でアフリカ豚熱がまん延し、根絶が困難に

#### 野外放置禁止



### 3 帰国後1週間は動物に近づかない

- **服や靴**についたウイルスを介しても感染

